

就職に力を 入れている大学

表2

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 明治大	東京	454
2	◎ 金沢工業大	石川	230
3	※ 九州工業大	福岡	132
4	◎ 立命館大	京都	95
5	◎ 法政大	東京	91
6	※ 福井大	福井	87
7	◎ 産業能率大	東京	82
8	◎ 福岡工業大	福岡	66
9	◎ 早稲田大	東京	63
10	◎ 中央大	東京	62
11	◎ 昭和女子大	東京	58
12	◎ 慶應義塾大	東京	53
13	◎ 青山学院大	東京	52
14	◎ 日本大	東京	51
15	◎ 近畿大	大阪	42
	◎ 関西学院大	兵庫	42
17	◎ 京都産業大	京都	41
18	◎ 専修大	東京	38
	◎ 立教大	東京	38
20	◎ 大阪工業大	大阪	37
21	◎ 関西大	大阪	33
22	◎ 国際教養大	秋田	32
	◎ 中京大	愛知	32
24	※ 一橋大	東京	29
	◎ 東京理科大	東京	29
26	◎ 武蔵大	東京	25
27	◎ 津田塾大	東京	23
28	◎ 東京経済大	東京	22
29	◎ 芝浦工業大	東京	21
	◎ 愛知大	愛知	21

面倒見が良い大学

表1

回答数は857校
※は国立、無印は公立、◎は私立を表す

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 金沢工業大	石川	424
2	※ 東北大	宮城	212
3	◎ 武蔵大	東京	135
4	◎ 国際教養大	秋田	99
5	◎ 明治大	東京	81
6	◎ 産業能率大	東京	76
7	※ 九州工業大	福岡	75
	◎ 福岡工業大	福岡	75
9	◎ 東京理科大	東京	74
10	※ 東京大	東京	51
11	◎ 国際基督教大	東京	45
12	◎ 名古屋商科大	愛知	42
13	※ 大阪大	大阪	41
14	※ 福井大	福井	40
	◎ 岐阜女子大	岐阜	40
16	◎ 津田塾大	東京	39
17	◎ 秀明大	千葉	36
18	※ 山形大	山形	35
19	◎ 立命館大	京都	34
20	◎ 昭和女子大	東京	32
	◎ 神奈川工科大	神奈川	32
22	※ 小樽商科大	北海道	31
	※ 京都大	京都	31
24	◎ 高知工科大	高知	30
25	※ 北海道大	北海道	29
	※ 名古屋大	愛知	29
27	◎ 近畿大	大阪	27
28	◎ 聖学院大	埼玉	26
29	◎ 神田外語大	千葉	25
	◎ 上智大	東京	25
	◎ 東京女子大	東京	25

就職に力を入れているだけあって、ランキングには実就職率（就職者数÷卒業生数）×100が、高い大学が多い。卒業生数1000人以上の大学で実就職率トップの金沢工業大が2位に入ったほか、実就職率3位の大阪工業大、同4位で女子大では9年連続トップの昭和女子大では9年連続トップの昭

和女子大、同5位で国公立大11年連続トップの福井大などが名を連ねる。高い就職実績は、進路指導教諭の評価を大きく変える要素でもある。10年前のアンケート結果に基づく「就職に力を入れている大学」ランキングでは、福井大は157位、昭和女子大は99位で、そこからの躍進だ。

昨年の10位から7位にアップしたのが産業能率大。大学関係者はこう話す。「教員、職員が共に学生をサポートする体制をとっていることもあり、学生が人気企業にチャレンジするようになってきたことが大きいと思います。楽天、ヤフー、サイバーエージェントなどに採用され、エイベック



大学の通



年が明ければ、すぐにセンター試験だ。そして私立大、国公立大の一般入試と続く。卒業生の進路が決定したら、すぐに次の学年の大学選びが始まる。大学通信では全国の進学校約2000校の進路指導教諭に「オススメの大学」を聞いている。エキスパートの意見を参考に、志望校にイチオシの大学を探してみよう。

信

簿



文 安田賢治 (大学通信)

全国857進学校 進路指導教諭が 大学をジャッジ!

面倒見が良い大学は 金沢工業大が15年連続日本一

全国の進学校約2000校の進路指導教諭を対象に「オススメの大学」についてのアンケートを行い、857校から回答を得た。5校連続で項目別に大学を記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント...として計算し集計している。その結果を順に見ていこう。

まずは表1の「面倒見が良い大学」だ。トップは15年連続で金沢工業大。進路指導教諭からも「理系分野の基礎基本から力をつけるカリキュラム」(北海道・公立高)、「教員に親近感を持って、学生の目的意識を高めている」(富山・公立高)、「入学後の生徒の姿容ぶりから面倒見の良さを感じる」(岐阜・公立高)、「授業、就職など、きめ細かく指導している」(愛媛・公立高)など高評価だ。リメディア教育(学力が一定水準に達しない新入生への補習教育)の充実を評価する声が多かった。同大は2000年から他大学に先駆けて数理・工教育研究センターを設置し、高校の数学・理科の復習から大学の専門領域で活用できる数理学習まで、個別学習指導が受けられ

る体制を整えている。最近では「面倒見が良い大学」という評価が定着したことで、高校の先生に勧められて進学してくる学生が増えているという。先生から「あそこはしっかり学ばせてくれる大学だから、進学して鍛え直したい。宿題もあって必ず大学の教員が目を通して学習指導をする。就職でも一流企業に入社できるから」と言われて来たという学生もいるようだ。大学教員が目を見て光らせていることが、学生、保護者に安心感をもたらしているのだろう。

2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は明治大の順だった。3位の武蔵大は「ゼミの武蔵」といわれ、ゼミナール形式の授業が有名だ。少人数教育で、双方で授業を進める。今で言うアクティブ・ラーニングだが、武蔵大は昔から実践しており、4年間必修となっている。次に表2の「就職に力を入れている大学」を見てみよう。トップは10年連続で明治大。就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強い。19年3月卒業生の就職先企業を見ると、日本郵政グループ39人、みずほFG35人、富士通31人、大和証券グループ本社、りそなホールディングス各30人、NEC28人、凸版印刷27人など。

グローバル教育に 力を入れている大学



表4

順位	学校名	所在地	ポイント
1	国際教養大	秋田	759
2	○国際基督教大	東京	421
3	○上智大	東京	332
4	○立命館アジア太平洋大	大分	321
5	○早稲田大	東京	160
6	○立命館大	京都	114
7	※東京外国語大	東京	107
8	○立教大	東京	98
9	※東京大	東京	96
10	○神戸外国語大	千葉	77

順位	学校名	所在地	ポイント
	◎ 関西学院大	兵庫	77
12	◎ 同志社大	京都	69
13	※ 東北大	宮城	63
14	※ 千葉大	千葉	58
15	◎ 関西外国語大	大阪	51
16	※ 京都大	京都	49
17	◎ 名古屋外国語大	愛知	48
18	※ 広島大	広島	46
19	◎ 東洋大	東京	44
20	◎ 南山大	愛知	41

教育力が高い大学

表3

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※東京大	東京	664
2	※京都大	京都	451
3	※東北大	宮城	404
4	国際教養大	秋田	155
5	※大阪大	大阪	137
	○国際基督教大	東京	137
7	※名古屋大	愛知	122
8	○東京理科大	東京	116
9	※東京工業大	東京	98
10	※九州大	福岡	95
11	※北海道大	北海道	91
12	○早稲田大	東京	76
13	※広島大	広島	72
	○慶應義塾大	東京	72
15	※筑波大	茨城	63
16	○金沢工業大	石川	53
17	※九州工業大	福岡	39
18	※岡山大	岡山	34
19	※一橋大	東京	31
	○上智大	東京	31
21	○津田塾大	東京	24
22	○立命館アジア太平洋大	大分	21
23	○明治大	東京	19
24	※岐阜大	岐阜	17
	会津大	福島	17
	○武蔵大	東京	17
27	※名古屋工業大	愛知	16
	※神戸大	兵庫	16
	○同志社大	京都	16
30	○立教大	東京	15

グローバル教育なら ダントツの国際教養大

表3の「教育力が高い大学」のトップ

スは20人採用の内、2人が産業界率大の学生でした。学生が自信をつけ、主体的に行動するようになってきました。そうだったのは、テーマを決めたプロジェクト学習の効果もあるのでしょう。例えばブランドプロデュースの授業では、福島県の復興支援として、学生が参加して地元の名産品を商品化し、道の駅で販売して売り切れるまで帰って来られない、という挑戦をしました。結果は売り切れ。こういった学生の達成感が就活でも積極的にさせているのだと思います。

プは13年連続で東大だ。2位は京大、3位は東北大で、旧帝大がトップ3を独占した。東大への評価としては「国際的にみても、競争力のある教員、設備、学習環境が充実している」(神奈川・私立高)、「優秀な学生の向学心を満足させるような教育内容で、進学した生徒の満足度も高い」(静岡・私立高)、「研究費が多く、教員と学生の質が高く、互いの刺激になっているから」(愛知・公立高)という声が上がった。トップ3の大学では研究力への評価が高い。大学にとって研究と教育は車の両輪の考えが強く、研究に優れている大学は教育の評価も高くなっている。4位は公立大トップの国際教養大、5位は大阪大と私立大トップの国際基督教大だった。

表4の「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは、調査開始以来10年連続で国際教養大だ。「面倒見が良い大学」と「教育力が高い大学」でともに4位、「小規模だが評価できる大学」で1位とさまざまな項目で評価が高い。国際教養学部のみで単科大で、授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須だ。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送る。5年かけて卒業する学生も多いが、就職実績は抜群だ。高校別の合格者数を見ると、地元の秋田のほか、岩手の盛岡第三、千葉の市川と昭和学院秀英、東京の東京学芸大附、神奈川の聖光学院、大阪の茨木が3人合格でトップに並ぶ。全国から受験生が集まっていることが分かる。2位は国際基督教大、3位は上

Kobe Kaisei College

小規模大学の魅力は、学生数が少ないからその手厚い指導とサポート体制だ。中でも神戸海星女子学院大学はまさに「超小人数」と呼べる環境。全人教育により「人を支え、輝く」自立した女性を育てる教育を実践し、高等学校の進路指導教諭から今年も高い評価を得ている。

全授業の1/3が10人未満(20人未満)の授業は全体の約7割と、少人数で展開され、実技・実習科目ではマンツーマンの指導を徹底しており、学生と教員のきめ細かな関わりは入学から卒業まで一貫して続く。

就職面でも小規模大学の強みが生かされる。キャリアセンターでは1年次から教員と就職担当教員が学生一人ひとりの思いに耳を傾け、個性と適性を共に確認しながら指導を実施。電話やメール、SNSも活用しながら親身にサポートを行っていく。指導方針は「学生の主体性を引き出す」こと。イメージで就職先を決めることをせず、学生自身が自分にとって最適な進路



「小規模だが評価できる女子大学」で全国5位にランクインした神戸海星女子学院大学。大学数の多い近畿地方において、3年連続で私立大学トップの評価を得ている。この高評価の理由について、詳しくみてみよう。

「超小人数」制の環境が 今年も私立大学トップの評価

を主体的に考え、発見できるように導いていく。小規模大学でありながら、キャリア支援プログラムの多彩さは他大学に負けていない。代表的なものは、各種の就職支援ガイダンスや、全30回の就職準備セミナーなど。教員志望者に対しては教員が採用試験対策講座を無料で開講し、保育・教職センターもサポート。2019年卒業生の保育士の就職率は近畿女子大第1位の実績を誇る。また、観光業界志望者を対象とした特別講座を多数開講するなど、学生それぞれの希望に応えられるサポート体制を整えている。

さらに、インターンシップにも注力。国内外の多様な企業・団体を受け入れ先として確保し、学生の挑戦を後押しする。実際の仕事の体験を通じた発見や職業観の醸成に役立てるのがねらいだ。「超小人数」教育で学生一人ひとりをしっかりとサポート。神戸海星女子学院大学のこういった強みが、高等学校の進路指導教諭から高く評価される理由ではないだろうか。



入学後、 生徒を伸ばして くれる大学

表8

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東北大	宮城	287
2	※ 東京大	東京	198
3	◎ 金沢工業大	石川	182
4	◎ 東京理科大	東京	177
5	※ 京都大	京都	109
6	◎ 国際基督教大	東京	92
7	※ 北海道大	北海道	57
8	◎ 明治大	東京	54
9	◎ 産業能率大	東京	53
10	国際教養大	秋田	51
11	※ 筑波大	茨城	43
12	※ 大阪大	大阪	42
13	◎ 武蔵大	東京	39
14	※ 九州大	福岡	34
15	※ 九州工業大	福岡	32
16	◎ 上智大	東京	31
17	※ 名古屋大	愛知	29
18	◎ 早稲田大	東京	29
19	◎ 中央大	東京	28
20	◎ 慶應義塾大	東京	27
	◎ 津田塾大	東京	27
	◎ 立教大	東京	27

入学後、 生徒の満足度が 高い大学

表7

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東京大	東京	336
2	※ 京都大	京都	219
3	※ 東北大	宮城	207
4	◎ 早稲田大	東京	152
5	◎ 明治大	東京	138
6	◎ 慶應義塾大	東京	115
7	※ 北海道大	北海道	103
8	※ 大阪大	大阪	86
9	◎ 国際基督教大	東京	71
10	※ 九州大	福岡	65
11	※ 名古屋大	愛知	61
12	◎ 立教大	東京	56
13	◎ 青山学院大	東京	53
14	※ 神戸大	兵庫	47
15	※ 筑波大	茨城	46
16	※ 一橋大	東京	38
17	◎ 上智大	東京	37
18	◎ 西南学院大	福岡	32
19	※ 広島大	広島	31
20	※ 岡山	岡山	30

小規模だが 評価できる大学

表6

順位	学校名	所在地	ポイント
1	国際教養大	秋田	283
2	◎ 武蔵大	東京	211
3	◎ 国際基督教大	東京	145
4	◎ 金沢工業大	石川	125
5	会津大	福島	99
6	◎ 産業能率大	東京	98
7	公立はこだて未来大	北海道	67
8	都留文科大	山梨	67
9	◎ 津田塾大	東京	60
10	◎ 成城大	東京	53
11	※ 九州工業大	福岡	52
12	◎ 成蹊大	東京	44
13	※ 一橋大	東京	37
14	富山県立大	富山	37
15	◎ 神田外語大	千葉	37
16	◎ 福岡工業大	福岡	34
17	◎ 立命館アジア太平洋大	大分	34
18	※ 京都工芸繊維大	京都	32
19	横浜国立大	神奈川	31
20	◎ 学習院大	東京	31

智大、4位は日本人学生と留学生が半数ずつの立命館アジア太平洋大、5位が早稲田大だった。上位は国際系の学部を設置している大学が目立つ。

表5の「改革力が高い大学」では、トップは4年連続で近畿大。一般入試志願者数が6年連続日本一の人気大学だ。インフラ整備に力を入れ、校舎の建て替えが進んでいる。また、新学部の設置の計画もあり、改革の手を緩めない。16年度に新設され、1年次の後期から海外に全員留学する他大学に例を見ない国際学部は、来年初めて卒業生を送り出す。その就職実績にも注目が集まる。また、クロマグロの完全養殖に成功したことで知られるように、研究力の高さも評価されている。2位は東洋大、3位は東北大、4位は早稲田大、5位は立命館大だった。

表6は「小規模だが評価できる大学」だ。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、金沢工業大、会津大、産業能率大の順となった。トップ3はいずれも文系の小規模大学だ。学生と教員の距離が近く、特色ある教育で高い評価を得ている。

表7の「入学後、生徒の満足度が高い大学」のトップは東大。2位が京大、3位が東北大、4位が早稲田大、5位が明治大だった。毎年このことだが、難易度の高い大学が上位を占める。難関を突破したことで満足度も上がり、第

1志望の受験生が多いことも影響しているようだ。

表8は「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」だ。トップは東北大、2位は東大、3位は金沢工業大、4位は東京理科大、5位は京大。東北大は「面倒見が良い大学」で2位、「教育力が高い大学」「改革力が高い大学」「入学後、生徒の満足度が高い大学」がいずれも3位と評価が高く、人気もある。予備校関係者は「東日本の国立の難関総合大学となると、東大の次は東北大になることもあって、首都圏でも人気が高いこともあるのでしょう」と言う。

改革力が高い大学

表5

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 近畿大	大阪	273
2	◎ 東洋大	東京	213
3	※ 東北大	宮城	180
4	◎ 早稲田大	東京	163
5	◎ 立命館大	京都	162
6	※ 東京大	東京	137
7	※ 京都大	京都	98
8	◎ 明治大	東京	79
9	※ 筑波大	茨城	75
10	※ 広島大	広島	75
11	※ 佐賀大	佐賀	59
12	◎ 関西学院大	兵庫	57
13	◎ 法政大	東京	52
14	◎ 青山学院大	東京	49
15	※ 千葉大	千葉	43
16	※ 東京工業大	東京	42
17	◎ 立教大	東京	42
18	◎ 桜美林大	東京	36
19	※ 名古屋大	愛知	34
20	※ 新潟大	新潟	30



面倒見が良い 女子大学

表10

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 岐阜女子大	岐阜	40
2	◎ 津田塾大	東京	39
3	◎ 昭和女子大	東京	32
4	◎ 東京女子大	東京	25
5	◎ 安田女子大	広島	22
6	◎ 神戸女学院大	兵庫	18
7	◎ 同志社女子大	京都	17
8	◎ 聖徳大	千葉	16
9	◎ 大妻女子大	東京	14
	◎ 広島女学院大	広島	14
11	◎ 日本女子大	東京	13
	◎ 神戸海星女子学院大	兵庫	13
	◎ 神戸親和女子大	兵庫	13
	◎ ノートルダム清心女子大	岡山	13
15	◎ 女子栄養大	埼玉	12
	◎ 恵泉女学園大	東京	12
17	◎ 川村学園女子大	千葉	9
	◎ 東京家政大	東京	9
19	※ お茶の水女子大	東京	8
	◎ 清泉女子大	東京	8
	◎ 相模女子大	神奈川	8
	◎ 筑紫学園大	福岡	8
23	◎ 和洋女子大	千葉	7
	◎ 学習院女子大	東京	7
25	◎ 東北女子大	青森	6
26	群馬県立女子大	群馬	5
	◎ 跡見学園女子大	東京	5
	◎ 実践女子大	東京	5
	◎ 武庫川女子大	兵庫	5
30	福岡女子大	福岡	4
	◎ 仙台白百合女子大	宮城	4
	◎ 駒沢女子大	東京	4
	◎ 東洋英和女学院大	神奈川	4
	◎ 甲南女子大	兵庫	4

偏差値や地理的、
親の資力などの制約がない場合、
生徒に勧めたい大学(私立)

表9-2

順位	学校名	所在地	ポイント
1	早稲田大	東京	809
2	慶應義塾大	東京	799
3	国際基督教大	東京	271
4	上智大	東京	250
5	東京理科大	東京	221
6	明治大	東京	203
7	同志社大	京都	199
8	立教大	東京	92
	立命館アジア太平洋大	大分	92
10	立命館大	京都	82
11	金沢工業大	石川	80
12	中央大	東京	68
13	青山学院大	東京	55
14	関西学院大	兵庫	52
15	関西大	大阪	42
16	西南学院大	福岡	37
17	近畿大	大阪	33
18	東洋大	東京	29
19	法政大	東京	28
20	南山大	愛知	24
21	武蔵大	東京	22
22	津田塾大	東京	20
23	福岡工業大	福岡	18
24	神田外語大	千葉	17
25	産業能率大	東京	16
	東京女子大	東京	16
	名城大	愛知	16
28	愛知大	愛知	15
	豊田工業大	愛知	15
	甲南大	兵庫	15



偏差値や地理的、
親の資力などの制約がない場合、
生徒に勧めたい大学(国公立)

表9-1

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東京大	東京	1,026
2	※ 京都大	京都	919
3	※ 東北大	宮城	648
4	※ 北海道大	北海道	252
5	※ 東京工業大	東京	244
6	※ 大阪大	大阪	241
7	国際教養大	秋田	217
8	※ 九州大	福岡	194
9	※ 名古屋大	愛知	193
10	※ 一橋大	東京	163
11	※ 筑波大	茨城	106
12	※ 神戸大	兵庫	94
13	※ 広島大	広島	65
14	※ 千葉大	千葉	47
15	※ 金沢大	石川	43
16	※ 九州工業大	福岡	38
17	※ 山形大	山形	34
18	※ 静岡大	静岡	30
19	※ 東京外国語大	東京	29
20	※ 京都工芸繊維大	京都	28
21	※ 東京農工大	東京	27
22	※ お茶の水女子大	東京	26
	首都大東京	東京	26
24	※ 横浜国立大	神奈川	25
25	※ 新潟大	新潟	24
	横浜市立大	神奈川	24
27	※ 琉球大	沖縄	22
28	※ 信州大	長野	21
29	※ 熊本大	熊本	18
30	※ 電気通信大	東京	17
	会津大	福島	17



表9は「偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」だ。国公立大トップは5年連続で東大、次いで京大で、3位が東北大だった。トップ10には旧帝大7校と東京工業大、一橋大、公立の国際教養大だ。難易度の高い大学が上位に上がっていることが分かる。それに準拠開大の筑波大、神戸大、広島大、千葉大が続く。一方、私立大はトップが早稲田大、僅差の2位が慶應義塾大で、この2校が3位以下に大差をつけた。以下、国際基督教大、上智大、東京理科大、明治大の順。やはり難易度が高い大学が上位に上がっている。

女子大学の ランキングにも注目

ここからは、女子大に限定したランキングを紹介しよう。表10は「面倒見が良い女子大学」だ。トップは岐阜女子大だ。アドバイザー制のもと、年に少なくとも3回の面談を実施し、学生1人ひとりの状態を細かに把握しながら指導に当たっている。地方大学でありながら県外出身者が7割を占めるのは、安心して生徒を送り出せる大学としての評価が定まっているからだろう。全学をあげて資格取得を推進していることも特徴で、県

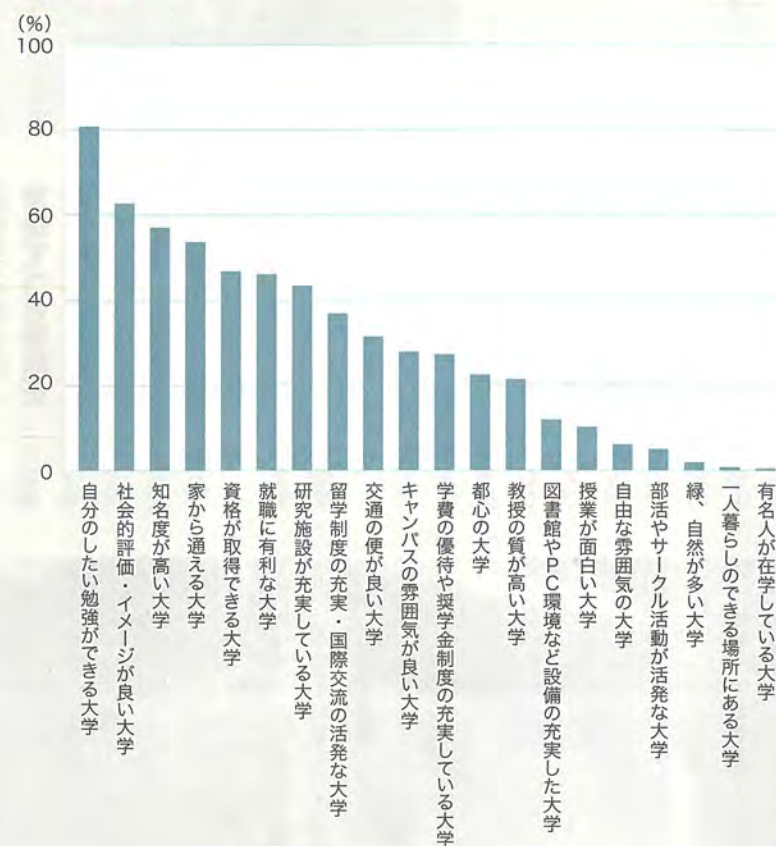
外出身者も地元に戻っての就職がしやすい。大学に送り出した生徒が成長して地元に戻ってきてくれることで、大学の面倒見の良さをさらに実感するだろう。2位は津田塾大、3位は昭和女子大、4位は東京女子大、5位は安田女子大、6位は神戸女学院大と続く。



生徒に人気のある大学は どのような大学でしょうか？

(複数回答可)

グラフ1

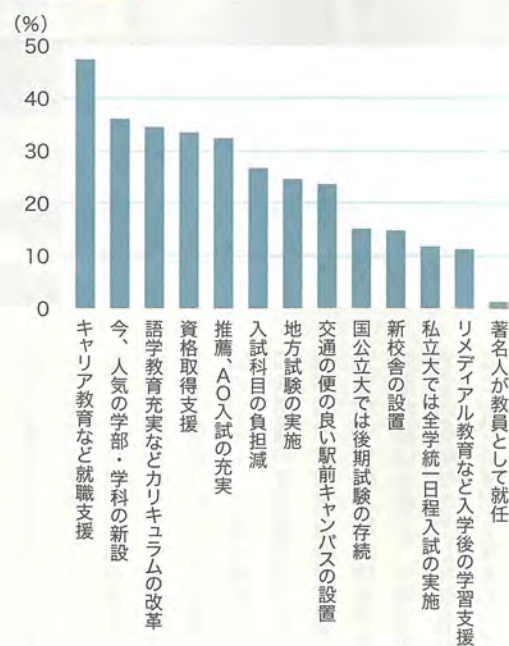


大学は改革を実施し、 受験生に魅力をアピール しようとしています、 こういった改革が受験生に 受け入れられて いるのでしょうか？

(複数回答可)



グラフ2



最も多い。次いで「社会的評価・イメージが良い大学」62・7%、「知名度が高い大学」57・1%、「家から通える大学」53・7%の順。ここまでは5割を超えている。受験生はこの四つの要素で大学を選んでいると見られる。大学の実就職率が約9割と就職環境が良いこともあり、「資格が取得できる大学」「就職に有利な大学」は5割を切った。就職よりも自宅から通える大学を選ぶ受験生が多い。

次にグラフ2「受験生に受け入れられる改革」とはどんなものか。最も多かった回答は「キャリア教育など就職支援」で47・4%、次いで「今、人気の学部・学科の新設」で36・1%、「語学教育充実などカリキュラムの改革」が34・5%だった。就職支援など、就活のサポートへの期待はまだ高い。現2年生は、これから1年かけて大学を選ぶという生徒が多いだろう。大学の評価は難易度や就職だけで決まる

ものではなく、いろいろな視点から検討することが大切だ。しかし、中身まではなかなかわからない。だからこそ、エキスパートの評価がこれからの進路指導の参考になるのではない。



入学後、 生徒の満足度が 高い女子大学

表12

順位	学校名	所在地	ポイント
1	○ 神戸女学院大	兵庫	20
2	※ お茶の水女子大	東京	13
	○ 津田塾大	東京	13
4	○ 安田女子大	広島	12
5	○ 女子栄養大	埼玉	9
	○ 京都女子大	京都	9
7	○ 東京女子大	東京	7
8	※ 奈良女子大	奈良	5
	○ 実践女子大	東京	5
	○ 清泉女子大	東京	5
	○ 神戸親和女子大	兵庫	5
	○ 福岡女学院大	福岡	5
13	○ 和洋女子大	千葉	4
	○ 学習院女子大	東京	4
	○ 共立女子大	東京	4
	○ 同志社女子大	京都	4
17	○ 恵泉女学園大	東京	3
	○ 岐阜女子大	岐阜	3
19	○ 大妻女子大	東京	2
	○ 昭和女子大	東京	2

小規模だが 評価できる女子大学

表11

順位	学校名	所在地	ポイント
1	○ 津田塾大	東京	60
2	※ 奈良女子大	奈良	27
3	○ 岐阜女子大	岐阜	20
4	福岡女子大	福岡	19
5	○ 神戸海星女子学院大	兵庫	14
6	○ 東京女子大	東京	13
7	○ 神戸女学院大	兵庫	11
8	※ お茶の水女子大	東京	10
	○ 昭和女子大	東京	10
	○ 日本女子大	東京	10
	○ ノートルダム清心女子大	岡山	10
12	○ 恵泉女学園大	東京	9
	○ 広島女学院大	広島	9
	○ 筑紫女学園大	福岡	9
15	○ 女子栄養大	埼玉	8
	○ 相模女子大	神奈川	8
17	○ 清泉女子大	東京	5
	○ 東洋英和女学院大	神奈川	5
	○ 名古屋女子大	愛知	5
	○ 大阪樟蔭女子大	大阪	5
	○ 神戸親和女子大	兵庫	5

表11は、「小規模だが評価できる女子大学」。トップは津田塾大だ。「面倒見が良い女子大学」「入学後、生徒の満足度が高い女子大学」とも2位となっており、様々な視点から女子大学でトップの評価を得ていることが分かる。2位は奈良女子大、3位は岐阜女子大、4位は福岡女子大、5位は神戸海星女子学院大だ。小規模であることを強み

に変え、少人数教育を軸に学生と教職員の距離が近いことで手厚い指導を行っている大学が上位にきている。表12は「入学後、生徒の満足度が高い女子大学」だ。トップは神戸女学院大。有名企業への就職に強い大学で知られ、特に航空関係に強い。全日本空輸や日本航空など、過去5年間で137人が航空関係へ就職した。希望

の業界へ進むための準備がしっかりできるといふ点で入学後の満足度が高いのかもしれない。2位はお茶の水女子大と津田塾大、4位は安田女子大、5位は女子栄養大と京都女子大だ。就職や資格取得に強い大学が並んでおり、表7の全体のランキングとは少し異なる性質になっていることがわかる。

最後に、個別大学のランキングを離れ、進路指導教諭が注目する点をグラフで見よう。グラフ1「生徒に人気のある大学」の特性としては、「自分のしたい勉強ができる大学」という回答が80・7%に達した。9年連続で

